

総合格闘技における柔道の優位性

Domination of Judo in Mixed Martial Arts

1 K03B056-0 上林 大悟

指導教員 主査 小野沢 弘史 先生 副査 関 一誠 先生

緒言

今日わが国では、空前の格闘技ブームが巻き起こっているといっていだろう。柔道、ボクシング、相撲、空手、レスリング……。その中でも一番人気を誇っているのが、総合格闘技である。つい、何年か前まで年越しの風物詩となっていたはずの伝統ある紅白歌合戦も総合格闘技イベントのまえでは影を潜めつつある。格闘技人気は未だやむことがなく、それはまるで現代の暗いニュースを吹っ飛ばすかのごとく熱く、激しいバトルが繰り広げられている。

私自信子供の頃から父に、K-1、PRIDE などを見せられてきて、私の生活の中には常に格闘技があった。誰が最強なのだろう？何の格闘技が強いのだろう？格闘技ファンなら誰もが思えがくであろうこの思いを、子供の頃の私も思えがいていたのである。

今回、テーマとしてなぜ柔道を取り上げたかということ、私自信小学校6年から柔道をはじめ、現在に至るまで11年間柔道が続けてきて、柔道の楽しさ、素晴らしさ、強さに一番身近に触れてきたからである。また、総合格闘技を見ていて、しばしば柔道出身の選手は強いと思うことがあった。金メダリストの吉田秀彦をはじめ、たくさんの柔道家達が総合格闘技に参戦し始めている。子供の頃からの思い、また柔道の強さを信じるべくこのテーマを取り上げていこうと思ったのである。

総合格闘技において柔道は優位なのだろうか？その答えを導き出し、私の大学生活の集大成とする。

第一章 総合格闘技とは

総合格闘技も柔道も格闘技の一種であるということは言うまでもない。格闘技のルーツを探ると、「闘争術、殺人術」であることがわかる。

その「戦い」の中ではもちろん武器が使われていただろう。しかし、集団の兵隊もしくは武士たちが入り乱れ武器がなくなってしまったとき、素手で戦う殺人術、格闘技が必要だったわけである。

本来、格闘技は「文化」として生まれたものではない。戦いの技術、人を殺すためのテクニックとして発展してきたのである。このように格闘技の原点に触れ、その後、どのように発展していき、現在の総合格闘技が確立されたのかを探っていく。

第二章 柔道とは

本来、一般的に言われる柔道とは明治15年に嘉納治五郎が創始した「日本伝講道館柔道」である。いったい嘉納治五郎はどのようにして現在の柔道を創始したのだろうか。

それは柔術諸派の技の比較検討と理論化、体系化が進展し、天神真楊流と起倒流との折衷にとどまらない講道館独自の技のシステムが形成されたことにより現在の柔道が形成されていく。

その後の、国内での発展、世界での発展を探り、柔道の現在まで至る過程を記している。

第三章 柔道出身の総合格闘家達

このテーマを研究するに至ったのははじめに書いたように総合格闘技のイベントで活躍する柔道出身の格闘家達がいたからだ。よって、ここで著名なその格闘家達を記載したいと思う。

柔道をバックボーンに持つ選手たちが、総合格闘技においてたくさん活躍しているということは、柔道の優位性がわかる最大の要素であると思う。

第四章 総合格闘技における柔道の優位性

まず、総合格闘技と柔道のルールの違いを探る。類似点が多ければ多いほどその競技特性が生きてくるし、相違点があればそれが弱点になり得る可能性もあると思われる。

次に、総合格闘技における決まり技の統計を出す。そこに少しでも柔道と結びつく技があるのだろうか。

その後統計から得られた結果を考察し、柔道が優位に立っていることを記していく。

また、柔道以外の他格闘技で総合格闘技においての長所、短所を探り、最後にそれと比較した柔道の優位性を述べる。

終言

この論文において私が述べたいことは柔道が格闘技で最強と言っているわけではない。世界でたくさんある格闘技の中でも総合格闘技において柔道は優位であると述べたいのである。

また課題を改善していけば柔道出身者は今以上にもっと総合格闘技で活躍していくに違いない。